

工場からのお知らせ～第4ブロック～

杉並清掃工場

蒸気復水設備工事を実施しました

清掃工場開設以来、23年間働き続けた蒸気復水器の老朽化に伴い、定期補修工事（1月16日から2月10日まで）にあわせて、取替工事を行いました。昭和57年12月に竣工し、都内の清掃工場の中で歴史のある手動工場です。これからも安全で安定的な操業を第一に無事故を心がけ、住民の信頼を得ることができるよう努めてまいります。



豊島清掃工場

職員による「針金巻きつき防止装置」の開発

流動床炉の最下部には、不燃物を抜き出す装置がありますが、工場開設当初から、針金などが絡まり故障の原因になっていました。プラントメーカーの担当者も経費をかけずに除去する方法に頭を悩ましていました。

この問題を解決するため、整備担当の職員チームが「針金巻きつき防止装置」を開発し、大きな効果を発揮しています。



板橋清掃工場

ISO14001の認証を受けました

工場では昨年来、ISO14001の認証取得に向け様々な取組みを行ってきましたが、この度、(株)日本環境認証機構(JACO)の本審査で当工場の環境管理マネジメントシステムが「ISO14001規格要求事項に適合している」旨の判断を受けました。

板橋清掃工場は、平成18年度、環境との共生を目指し、新しいスタートを切ります。

練馬清掃工場

工場の運転業務委託等の準備を進めています

練馬清掃工場では、4月からの業務管理委託において準備作業が始まりました。見学者説明室が準備のために使用されています。現場では、各種の作業マニュアルを元に、工場職員からのヒヤリングを行っています。場内の設備・機器の配置の確認を終え、いよいよ焼却炉やクレーン等の操作確認作業が始まります。

光が丘清掃工場

ハイビスカスの花が冬を越しました

度々紹介させていただいておりますが、当工場の管理棟と工場棟を結ぶ渡り廊下は、上部、側面ともガラス張りとなっています。陽射しがよく入り、いつも温室顔負けの暖かさです。ところで、昨年7月に職員がハイビスカスの鉢植えを置いたところ、赤、黄、桃色の花が次々と開き、さらに冬を越して今なお花を咲かせています。おかげさまで職員はもとより、工場見学に訪れる方々の目を楽しませてくれています。

